



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 伊藤 淳

令和3年10月26日 No.6

「百歌繚乱～想いをのせて咲きほこれ～」

10月14日（水）、府中の森芸術劇場で無事合唱祭を終えることができました。保護者の皆様にはご来場いただくことはできませんでしたが、当日までのお子様の体調管理等をはじめ、ご理解とご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

緊急事態宣言が延長され、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらどのように当日を迎えるための合唱練習ができるのかを模索していきました。放課後の合唱練習は、各学級に3つの割り当て場所を決めてのパート練習、クラスの合唱を合わせるときは校庭、武道場、アリーナとしました。練習がパート練習中心となること、学級全体で合わせて練習する回数が限られることも考慮しコンクール形式から発表会形式へと変更をしました。

また、3年生の当日の発表は、2曲から1曲に減らして自由曲のみとし、課題曲である大地讃頌は学年合唱として、合唱祭の前々日に校庭で行うこととしました。10月11日（月）、3年生は最上級生としての姿を1・2年生に、そして、来ていただいた3年生の保護者の皆さまにしっかりと示してくれました。



当初の予定からは大きな変更となってしまったことで、生徒たちの取り組みに影響が出てしまうことを心配していましたが、私の心配事が期待へと変わるのにあまり時間は必要ありませんでした。放課後練習が始まると、校舎内外から歌声が聞こえ、その歌声は練習を重ねるごとに響きが増していました。その中心にいてくれたのは、実行委員であり、指揮者、伴奏者、パートリーダーの皆さんでした。そして、その想いに応えていた生徒たちがいました。担任をはじめとする先生方も生徒に寄り添いながら、手助けをたくさんしてくれていました。「競いあう」から「高めあう」へ・・・合唱祭に向けて学校全体で取り組みが進められていきました。

合唱祭当日の各クラスの発表はもちろんですが、取組の中で強く印象に残っている場面は、3年生が2つのパートごとにアリーナで大地讃頌の練習をしている時に、3年生の実行委員がクラスの枠を越えて指導をしていた場面です。その姿は、まさに高めあう合唱祭に向けた取り組みそのものでした。

例年とは違った形での合唱祭となりましたが、「百歌繚乱～想いをのせて咲きほこれ～」のスローガンのもと、全員で高めあい創り上げた合唱は、五中の未来につながる「大切なもの」となりました。



部活動の成績

【卓球部】

府中市公私立卓球大会 1年男子団体 第3位

府中市公私立卓球大会 1年女子団体 第3位

第9ブロック秋季大会 1年男子シングルス 第3位

【バスケットボール部】

府中市新人大会 女子の部 優勝

府中市新人大会 男子の部 第3位

【陸上部】

第68回 はちおうじT&Fトライアル 男子中学1年 4×100m

第7位 府中五中

【剣道部】

第9ブロック中学校秋季剣道大会 女子団体 第3位

オンライン道德授業のお知らせ

11月20日（土）に道德授業地区公開講座を予定していますが、学校公開については今後も保護者の参観をできるだけ分散し、教室内の密を避ける工夫をするように教育委員会から指示されています。そこで、11月20日の道德授業については、生徒にタブレット端末を持ち帰らせ、8分ほどの動画をご家庭で一緒に視聴してもらい、道德的価値について考えてもらうオンライン授業を予定しています。

動画の内容は、バスの運転手が「人に親切にすること」と「ルールを守ること」のどちらも大切な道德的価値について、どちらかを選択しなければならず悩むというものです。絶対的な正解はないので、タブレット端末を使って自分の考えを自由に出させる授業を考えています。

ただ、学校から配信する動画を各家庭でタブレット端末で見るとき、スムーズに視聴できるのかという問題があります。そこで、11月5日（金）の5校時終了後、1年生だけ下校して自宅で違う動画を見てもらう試行を実施します。そこで問題があれば、改善して20日に臨みたいと思います。よろしくお願いします。

学校公開日のお知らせ

11月22日（月）、24日（水）、25日（木）の平日3日間、保護者に来校して授業を見ていただく学校公開日を予定しています。ただし、前述しているようにお互い間隔をあけて教室が密にならないようご協力ください。詳細については、後日お知らせします。